

和に結ぶ

平成30年9月27日 発行責任者 校長 佐藤和子



かしこく
やさしく
たくましく

荒井小学校図書室は楽しい本がいっぱい。ぜひ、のぞいてみてください。

平成30年度も 折り返し

一人一人の確かな成長を目指して、充実した教育活動を

平成30年度の荒井小学校は、「かしこく やさしく たくましく」を教育目標に、子供一人一人にとって居場所があり、学ぶことが楽しい学校づくりを目指して取り組んでいます。今年度の荒井小学校教育活動も、折り返しの時期となりました。学校全体が教育目標に向かって確実に進んでいるかについて、これまでの半年間を振り返り、様々な教育活動は有効だったか、よりよくするための改善点はどこか等を確認して、後半につないでいく時期です。子供一人一人の成長を後半の半年間につないで教育目標を具現していくために、年度末のゴールの姿を具体的にイメージして、職員一丸となって取り組んでまいります。

さて、荒井小学校の教育活動は充実しているか、子供たちは生き生きと学んでいるか、ぜひ、保護者の皆様や地域の皆様の声をお聞かせください。そして、荒井小学校が「かしこく やさしく たくましく」生きぬく、力強いあらいっ子を育てる学校であるために、皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

自然の中で 豊かな体験を

5年生 宿泊学習 9月5日(水)～7日(金)

2学期のスタート早々に、5年生は那須甲子青少年自然の家で宿泊学習を行いました。雄大な自然の中で、登山や野外炊飯、野外冒険ハイキング等々充実した3日間を過ごしました。様々な体験活動を通して、協力し合って活動することの大切さを実感したとの感想も聞かれ、子供たちの成長を感じました。



頂上を目指して、ひたすら登った茶臼岳登山



がんばったからこそ最高においしい頂上での昼食



自然を満喫した野外冒険ハイキング



食堂の食事自然の家の楽しみの一つ

宿泊学習に向けての準備等で保護者の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

***** すごしやすい季節になりました。生活のリズムを見直してみませんか。 *****

元気な毎日の合言葉は

早ね 早起き 朝ごはん

子供たちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。しかし、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という成長期の子供にとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣が乱れてきていることが近年問題となっています。基本的な生活習慣の乱れが学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されているのです。

さて、あらいつの子の生活習慣はどうでしょうか。テレビ視聴やネットでの動画視聴やゲームだけでなく、宿題や習い事等で就寝時刻が遅くなってはいないでしょうか。朝も、起こされてようやく起き、食欲のないままに朝食もほんのちよつとで、眠いまま登校することはありませんか。

成長期の子供の生活リズムと大人の生活リズムは違います。子供は大人より十分な睡眠が必要です。就寝時刻が遅くはないか、睡眠時間は十分か、それぞれのご家庭でお子さんと一緒に見直してみてください。古くから言われる「寝る子は育つ」は、科学的にも根拠があるそうです。

「早ね 早起き 朝ごはん」が習慣になるように、家族一緒に、できることからぜひ取り組んでみませんか。

読書は心の栄養

家読(うちどく) やってみませんか

「家読(うちどく)」は家族で読書の習慣を共有することです。読み聞かせをしたり、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話したり、やり方に決まりはありません。

同じ本をみんなで読めば、会話も一層弾みます。また、お互いに本を薦め合う、家族そろって図書館や本屋さんで本を選ぶなど、読む本について相談し合うことでもコミュニケーションが深まるのではないのでしょうか。

「毎日忙しくて、とても時間がない・・・。」
こんな声も聞こえてきそうです。まずは、週に1度テレビを消して一緒に本を読む時間をつくってみてはいかがでしょうか。それぞれに自分の好きな本を読むだけでいいのです。読んだ本を紹介し合えば話題も広がります。自分で読むだけでなく、読み聞かせを聴くこともとても楽しいものです。大人が読むだけでなく、子供の読み聞かせを家族みんなで聴くのもよいかもしれません。それぞれの家庭のやり方で、ぜひ本と親しむ時間をつくってください。

※お気に入りの一冊に出会うために、学校の図書室、PTA図書、移動図書館しのぶ号等をぜひ活用してください。

望ましい生活習慣は子供にとって一生の宝物です。望ましい生活習慣づくりのために、まずは一つでも、できることから挑戦してみてはいかがでしょうか。

福島市教育委員会教育研修課研究協力校 研究発表会

10月26日(金)

本校は、昨年度より『「わかった」「できた」と実感できる授業づくり』をテーマに掲げ、子供一人一人が、確かに「わかった」「できた」と実感できるためにはどのように授業を改善していけばよいかを、算数科を窓口として現職教育で実践研究を進めています。このたび、この研究の一端を福島市内の多くの先生方に見ていただくために、研究発表会を開催します。研究会当日は、生き生きと学ぶ子供の様子を見ていただき、子供一人一人が主体的に学ぶ授業づくりについて発信できるように、「チーム荒井」で準備を進めています。

これまで、保護者の皆様には、研究発表会に向けて校内の環境整備等でご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。また、当日もPTA役員の皆様を中心にお手伝いいただきますこと、本当にありがとうございます。

研究発表会を契機に、ますます充実した授業づくりを進めてまいります。

